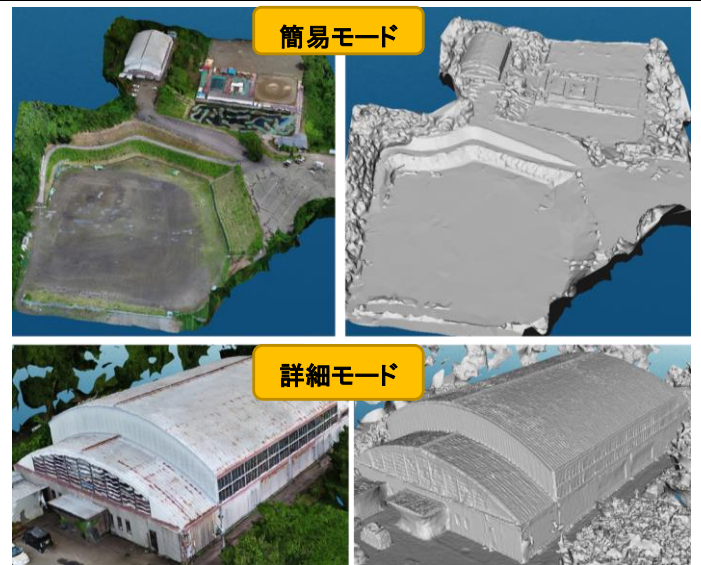


Premium所内研修会報告書		整理番号	
テーマ	モバイル版3Dモデル構築システムと位置管理システム等による作業所統合管理		
研修会次第			
日時	2018年12月4日 (火)	16:00~17:45 (質疑・休憩含む)	参加者 22名
場所	一般財団法人先端建設技術センター 大会議室		
講師	アジア航測株式会社 執行役員 社会基盤システム開発センター長 政木英一氏 計測技術研究室長 新名恭仁氏		

講演内容			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本システムは、撮影から3Dモデルを作成するまでの処理時間を大幅に短縮し、持ち運びも可能とした、ハードウェア・ソフトウェア一体型の高速SfMシステム(モバイル版3Dモデル構築システム:通称「UM3」)である。</li> <li>・画像の入ったSDカードやUSBキーを挿し、タッチパネルでボタンを押すだけで3Dモデルを作成することができる。</li> <li>・「詳細モード」「簡易モード」があり、簡易モードは15分~30分程度で3Dモデル構築が行えるため、現地でモデル作成状況を目視し写真の撮り漏れやオーバーラップ不足を確認でき、その場合にはすぐに再撮影が可能である。</li> <li>・災害時等の異常時には、簡易モードで作成した3Dモデルを現地から4G等で管理者に送ることにより、迅速に現場の状況把握やその情報共有が可能となる。必要であれば、事務所に戻って詳細モードで処理を行う。</li> <li>・詳細モードでは非常に高詳細な3Dモデルを構築でき、処理時間も他社製品に比べて約1/5以下である。</li> <li>・システムの寸法は568mm×380mm×205mm、重量は約40kgである(今後、小型・軽量化を図る予定)。</li> </ul>			



政木氏と新名氏によるご講演と質問対応状況



処理結果の例



システムのデモと当センター職員による操作体験状況